

# 辰 「正直な政治」をつらぬきます!



2024年、国民民主党は

再び!!「人口激減、どうする和歌山!?」

(初登壇2003年12月議会から)

謹賀新年 和歌山県議会壇上に表記のテーマで、初めて立てさせて頂き、早20年が経ちました。当時「人口減少」ということに県当局も県議会も、ほとんど認識がありませんでしたが、その直近の国勢調査では107万人だった人口が、現在既に89万人にまで減少し、**2040年、つまりあと16年で69万人台と、更に20万人減少する**という推計もあります。

また、現在33%の高齢化率が、その時40%まで上がるということで、「人口激減」と「超高齢化」が今まで以上に大きな問題になることは間違いありません。では、どうすればこの状況をより良く

することができるのか?私は「人口激減」対策には、やはり若者の地元での雇用であり、その為に「和歌山IR」のような**大型民間投資を図る『和歌山経済再生プロジェクト』を早急に進めること**。また「超高齢化」対策には**『健康長寿日本一わかやま』を実現させる**、きめ細かな啓蒙活動と実践運動が必要であると、確信しております。

今年もこの二本の大きな柱を中心に、和歌山県の将来を見据え、少しでも実現できるよう精一杯努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

和歌山県議会議員(6期) 国民民主党和歌山県連代表



うら ぐち こう てん  
**浦口 高典**

1955(昭和30)年生まれ、和歌山市今福在住  
早稲田大学教育学部教育学科 卒業  
【所属委員会】経済警察委員会  
人権・少子高齢化問題等対策特別委員会 副委員長  
【地域活動】ニッケンスクール高典塾(日本拳法師範・八段)

2024年を昇竜飛天\*の年に

2024年あけましておめでとうございます。県民の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素は国民民主党への活動に対しまして、深いご理解と格別なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今年は辰年にあやかり昇竜飛天\*の年にしたいものです。

さて、昨年末には「和歌山火力発電所」の建設断念の方針が発表され、平成16年から19年間にわたって手つかずの状態だった土地の活用に向けて視野が開けたことは、人口減に喘ぐ本県にとって、とりわけ当該立地市にある和歌山市にとって、企業誘致に取り組んでいく大きなチャンスです。県市協動で和歌山経済の発展に繋げていきたいものです。

また、国民民主党の地方組織である和歌山県連として、県民の皆様に信頼される「正直な政治」の継続並びに確立。そして、お一人おひとりの市民の皆様より頂く現場の声は、対話と現場主義をモットーにした和歌山市議会議員 永野裕久の議員活動の大きな糧になります。

令和6年も「批判よりも建設的な議論と提言」を軸にした、中身ある政策提言に努めて参ります。

有限実行。本年もよろしくお願い申し上げます。

結びに、県民の皆様にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

\*昇竜飛天:天空に昇った竜が飛翔している勢いのよいさま。

和歌山市議会議員(5期) 国民民主党和歌山県連幹事長



なが の ひろ ひさ  
**永野 裕久**

1973(昭和48)年生まれ、和歌山市出身  
和歌山県立和歌山東高等学校 卒業  
【所属委員会】経済文教委員会、広報委員会



大勢の皆様を前に街頭演説をする  
国民民主党 玉木雄一郎代表(写真上)  
と浦口高典県連代表(左同)  
(2023年12月3日、JR和歌山駅前で)





# 国民のための 政策を進める。

榛葉 賀津也 幹事長

参議院議員(静岡県)

玉木 雄一郎 代表

衆議院議員(香川2区)

国民民主党は12月13日、東京・新橋駅において臨時国会閉会に当たっての街頭演説会を開催しました。

榛葉幹事長は自民党の裏金問題を批判しつつ、「このような政治から脱却するために、国民民主党が頑張ろう。どの政党も選挙のときはきれいな公約集を出してくるが、選挙が終わればどこかへ行ってしまう政党が多い。その中で馬鹿正直と言われようと、掲げた公約を実現することにこだわっていく」と国民民主党の政治姿勢を示し、「政策実現をする正直で正しい塊を、みんなの力で大きくしていきたい」と支持を訴えました。

玉木代表は「国民民主党は国民のための政党をつくろうとしてスタートし、『対決より解決』、『政策本位』を掲げてきた。与党と協議することで批判も受けたが、政策をひとつでもふ

たつでも実現させようとしてきた」と党の来歴を語ったうえで、「是は是でも、非は非だ。政策を進めるためには、政治に対する信頼が必要不可欠だ。今回の裏金の問題は、この政治に対する信頼を根本から揺るがす。我々は政策に重きを置くからこそ、これを許してはいけない」と裏金問題への立場を示しました。

最後に「我々は大きな社会変革に挑んでいく。いま変わらなければ、日本がだめになってしまう。もう一度、本当に信じていただける政治をつくるため、まっすぐに政治に取り組んでいく。」と力強く訴えました。



新橋駅街頭演説会の模様は

公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。



## 与党の不正を容認しないとガソリン値下げはやらない!?

国民民主党は物価高騰に苦しむ国民の生活を支援するため、トリガー条項凍結解除によるガソリン値下げを与党に強く迫ってきました。世論も高まり、与党は国民民主党との協議を踏まえ、来年度税制改正大綱にトリガー条項凍結解除に関する記載を行う予定でした。

しかし、実現を目前に、自民党の裏金問題が明らかに。「正直な政治」をめざす国民民主党は、内閣不信任案に賛成した

結果、与党は税制改正大綱からトリガー条項に関する記述を削除しました。

そもそもトリガー条項凍結解除は、国民生活と経済を守るためにあります。与党の不祥事を容認しないと実現できないなんてことがあっていいのでしょうか。総理指示で始まった3党協議。公党同士の約束を反故にせず、今こそ国民のための政策を前に進めるべきではないでしょうか。

## 国民民主党は「正直な政治」をつらぬきます!

派閥で集めたお金を政治資金収支報告書に記載せずに裏金化していたのではないかとの疑惑が広がっています。裏金化は政治資金規正法違反だけでなく所得税法違反の可能性もあり論外の行為です。

政治は国民の信頼なくして成り立ちません。国民民主党は政治不信を解消するため、政治資金の透明化に努めます。調

査研究広報滞在費(旧文通費)については日割支給だけでなく、使途報告書の公開や残額の返還を義務化する法案を提出するだけでなく、党独自に使途公開を行っています。

また、対決ばかりで議論の進まない政治を変えていくため、与野党が熟議し多様な意見を反映した法案修正ができるよう、国会の審議のあり方の見直しも提案しています。